

タムラサトル

TOKYO マシーン

作家名 | タムラサトル
展覧会名 | TOKYO マシーン
会期 | 2021年9月18日(土) - 9月23日(木)
会場 | 銀座 蔦屋書店 GINZA ATRIUM (イベントスペース)



Satoru Tamura, TOKYO machine, 2021, glass, steel, chain, bearing, motor, cable, 102.0 x 390.0 x 60.0 cm

この度 MAKI Gallery は、電気を使ってシニカルなユーモアを交えた立体作品を制作する、タムラサトルの個展「TOKYO マシーン」を2021年9月18日(土)から9月23日(木)の期間、銀座 蔦屋書店中央イベントスペース GINZA ATRIUM にて開催いたします。

タムラサトルは、私たちの生活に必要な不可欠な「電気」を用いて、実用性を排除した大掛かりで「装置」と呼びたくなるような作品を制作しています。火花を出しながら規則的に ON/OFF される白熱灯、バタバタと音を出しながら回る布、ぐるぐると回転するワニ… これは一体なにを目的に作られたのだろうかと疑問に思いながら、気付けば無心で作品をじっと鑑賞し続けている私たちは、「素材・形態がもつであろう意味・設定・目的からも、自由でありたい」と話す彼の術中にはまっているのかもしれない。

今回会場では数字や文字、記号などを形作ったチェーンが延々と回る「マシーンシリーズ」が展示されます。アルファベットの「ART」をかたどった ART マシーンや、「!」(エクスクラメーションマーク)型のマシーン、また今回初披露となる TOKYO マシーンなど、20点以上の作品が同時に動く様は圧巻です。社会に欠かせない有用な電気を、何も生み出さない、なんの役にも立たない無用なものとして、シニカルなユーモアを交えて作品にするタムラサトルが作り出す空間を、この機会にぜひお楽しみください。



—タムラサトル

タムラサトルは1972年栃木県生まれ、1995年筑波大学を卒業した後、作家活動を開始する。タムラの作品には、電気という現代文明に欠かせないもの、いわゆる社会インフラ（インフラストラクチャー）が使われている。ときには動力となってワニを回し、ときには計測器となって美を数値化し、そしてあるときはプラスとマイナスの電極をギリギリに接触させてランプを灯す。「だからなんだ？」と思わずつぶやきたくなるアイロニーに満ちたこれらタムラの作品は、大がかりな‘装置’であるゆえに遊園地を思わせる。それは作家がいみじくも語る「素材・形態がもつであろう意味・設定・目的からも、自由でありたい」を具現化しており、作品を通してタムラが訴えるところなのだ。

電気があまりにも生活に、産業に深く入り込み、私たちはそれがもはや所与のものと感じている。ひとたび停電ともなれば、いかに電気に依存した生活を送っていたかがわかる今日。これほど社会に欠かせない有用な電気を、何も生み出さない、なんの役にも立たない無用なものとして、彼はシニカルなユーモアを交えて作品にする。タムラの作品は、まさに見る以外での用途を禁じたファインアートそのものなのである。そして有用性のみが優先する社会にも警告を発するのである。

主な個展に、「タムラサトル展 Wall to Wall (Domain of Art 22 プラザノース開館10周年記念展)」プラザノース ノースギャラリー（埼玉、2019年）、「Point of Contact #6」LAGE EGAL RAUM FÜR AKTUELLE KUNST（ベルリン、2015年）、「タムラサトル《真夏の遊園地》」栃木県立美術館（栃木、2014年）がある。

また、「世界の呼吸法—アートの呼吸 呼吸のアート（川村記念美術館開館15周年記念）」DIC 川村記念美術館（千葉、2005年）/ 佐倉市立美術館（千葉、2005年）、「I am a Curator」Chisenhale Gallery（ロンドン、2003年）、「First Steps: Emerging Artists from Japan」P.S.1 Contemporary Art Center（ニューヨーク、2003年）、「NEO-TOKYO: Japanese Art Now」シドニー現代美術館（シドニー、2001年）など、国内外のさまざまなグループ展に参加。さらに、2017年 International Light Art Award 2017 First Prize 受賞、2009年 第12回岡本太郎現代芸術賞展（TARO賞）特別賞、2002年 フィリップ モリス K.K. アートアワード 2002「ザ・ファースト・ムーヴ」特別賞、1999年 KIRIN CONTEMPORARY AWARD 1999 奨励賞など多数の受賞歴がある。

展覧会詳細

タムラサトル 「TOKYO マシーン」

会期 | 2021年9月18日（土） - 9月23日（木）

会場 | 銀座 蔦屋書店 GINZA ATRIUM（イベントスペース）

入場 | 無料

主催 | 銀座 蔦屋書店

協力 | MAKI Gallery、TEZUKAYAMA GALLERY

お問い合わせ | 03-3575-7755（営業時間内）/ info.ginza@ccc.co.jp

※営業時間は店舗ホームページをご覧ください。

特集ページ | <https://store.tsite.jp/ginza/blog/art/22199-1523140908.html>